/ \/	「工業高等	専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	文献講読	E(3206)	
科目基礎			•				•	`	
科目番号		5C30		科目区分		専門 / 必	専門 / 必修		
授業形態		講義			単位の種別と単位	位数 履修単位	履修単位: 1		
開設学科		産業シスース	ステム工学科マテリア	アル・バイオ工学コ	対象学年	5	5		
開設期		秋学期(3rd-Q)			週時間数	3rd-Q:4			
教科書/教	材	各担当教	マ 員による						
U 当教員		松本 克		之,佐藤 久美子,本間	引 哲雄,新井 宏忠,	門磨 義浩,川口:	恵未,金子 賢·	介,小船 茉理剂	Z
2. 文献の	- した文献のP の内容を分が 工学に対する	かり易く報告	、理解できること。 言書にまとめること P周辺知識を修得する	3こと					
<u> </u>			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目安	未到達し	 ·ベルの目安	
平価項目1	1			<u></u>	講読した文献の		=装=生! た	講読した文献の内容を理解でき	
			できる 文献の内容を分:	できる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		の内容を理解できる。い		容を報告書に	まとめられ
评価項目2 			まとめられる 物質工学に対す	るない		ない 引物質工学			
平価項目3		 頁目との関	知識を修得でき	る 	できる		できない		
			<u>: 1余</u> ′プロマポリシー DF	24 ()					
アイノロ 教育方法		レトコ ∪ ナイ	ノロャルソシー DF						
既要 受業の進む	め方・方法	最先端の た、国際 て、卒業 読解力と 各研究室	経社会に対応できる身 研究のテーマを中心 、内容を他者に分か に分かれて担当教員 まとめ、報告書とし 発に対する取り組み	がには、英語で書かれ 英語基礎力の育成にする かり易く伝える文章 はの指導のもとに、 はの指導のもとに、 はいた。	も英語文献の講読 周辺知識の修得を 作成能力を養成す 英語文献を選び、	は重要な訓練と対 目指して、英語: ることを目的と 講読する。内容(ぶる。本科目 文献の講読を する。 D理解の後、	では、各研究 行い、内容を その内容を他	室に分かれ 理解できる 者に分かり
主意点		成績は読とする。		こ、専門知識や周辺領	知識の理解度を各	担当教員が評価(ン、100点満	点のうち60点	以上を合札
	<u> 禹性・履修</u> ティブラーニ	<u>多上の区分</u> - シィブ) □ ICT 利用		□遠隔授業対応	<u> </u>	□□宝務	 経験のある教!	員による揺
			101 1111		TE ZERIJZAZIA	<u> </u>		HADOUS CONT.	21000
授業計画	軻								
		週	授業内容			週ごとの到達目	標		
		1週	ガイダンス						
		2週	(Chemistry Letter	化学に関する英語文i rs等) 倫ならびに反応速度i					
		3週	長谷川 環境触ぬ	某および無機機能材	開に因りる文脈				
/// H D	3rd0		齊藤 光合成や炭素材料などに関する 佐藤(久) 高分子の英語論文 (Macromolecules等) 本間 超臨界水利用技術に関する文献						
公井中	2540	4週	(Macromolecule:	分子の英語論文 s等)	る文献	佐藤(久) 高)に関する文献 ることができる本間 超臨界水 してまとめ、で び卒業論文の作	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	引する文献を読 T究計画・実施]識を修得: 読み、知識:
	3rdQ	4週	(Macromolecule: 本間 超臨界水和 山本 DNA修復 文献講読 (Mutatic	分子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周	献講読期に関する英語) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得 [:] 読み、知識。
後期	3rdQ		(Macromolecule:本間 超臨界水利 山本 DNA修復、文献講読(Mutatic 新井 金属製造 語文献講読 門磨 高性能二次 英語文献講読 川口 生活習慣病	分子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周 on Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に	る文献 献講読 期に関する英語 解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得。 読み、知識。
发期	3rdQ	5週	(Macromolecule: 本間 超臨界水利 山本 DNA修復、 文献講読 (Mutatic 新井 金属製造] 語文献講読 門磨 高講読 門磨 高講話 川口 生活習慣和 金子 天然物化等	分子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周 のn Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学,薬学,環境科学に で資源循環,グリー	る文献 献講読 期に関する英語 解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読 関する英語文献) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得。 読み、知識。
乡期	3rdQ	5週	(Macromolecule: 本間 超臨界水利 山本 DNA修復、 文献講読 (Mutatic 新井 金属製造 語文献講読 門磨 高性能二次 英語文献 講法 門語文献講法 門語文献講法 門語文献講法 門語文献講法 所述 生活習慣紀 金 、 大然物化等 時 、 大然物化等	分子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周 のn Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学,薬学,環境科学に で資源循環,グリー	る文献 献講読 期に関する英語 解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読 関する英語文献) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得。 読み、知識。
		5週 6週 7週 8週	(Macromolecule: 本間 超臨界水利 山本 DNA修復、 文献講読 (Mutatic 新井 金属製造ご語文献講読 門磨 高階語文献講読 門磨文献生活習慣和 金子 天然物化学 購読 物質変換い に関する英語文献観	か子の英語論文 s等) 利用技術に関する文 、突然変異、細胞周 on Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学,薬学,環境科学に や資源循環,グリー 講読	る文献 献講読 期に関する英語 解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読 関する英語文献) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得。 読み、知識。
モデル ニ		5週 6週 7週 8週	(Macromolecule: 本間 超臨界水利 山本 DNA修復、 文献講読 (Mutatic 新井 講読) 門磨 京献講読 門磨 京談 言語文献 川田 生活習慣別 金子 天然物化等 購読 物質変換り に関する英語文献関 まとめ	か子の英語論文 s等) 利用技術に関する文 、突然変異、細胞周 on Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学,薬学,環境科学に や資源循環,グリー 講読	る文献 献講読 期に関する英語解析に関する英究開発に関する文献講読 関する文献講読 関する英語文献 ンケミストリー) に関する文献 ることができる 本間 超臨界水 してまとめ、卒	を読み、卒業 利用技術に関 業研究での研	镁研究の予備知 関する文献を誘 T究計画・実施]識を修得。 読み、知識。
		5週 6週 7週 8週 Fユラムの	(Macromolecule:本間 超臨界水利 超臨界水利 超臨界水利	か子の英語論文 s等) 利用技術に関する文 、突然変異、細胞周 on Research等) プロセスの速度論的が 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学、薬学、環境科学に や資源循環、グリー 講読	る文献 献講読 期に関する英語解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読 に関する英語文献 ンケミストリー)に関する文献 ることが を おし おし おし おし おし お と が に お し な の の の の の の の の の の の の の の の の の の	を読み、卒業利用技術に関業研究での研究に生かする	に対の予備知識を受ける。 では、 できる。	武・考察おの
Eデル <u>:</u>		5週 6週 7週 8週 Fユラムの	(Macromolecule:本間 超臨界水利 超臨界水利 超臨界水利	か子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周 on Research等) プロセスの速度論的が 欠電池電極材料の研究 あおよひ食品化学に対 学、薬学、環境科学に や資源循環、グリー 講読	る文献 献講読 期に関する英語解析に関する英 究開発に関する 関する文献講読 に関するストリー) に関する文献 ることが言れ 本して言とがを 本して主とが できない。 でで で で で で きる か の で きる か の で きる か の で きる か の で きる の の で き の の の の の の の の の の の の の の の の	を読み、卒業利用技術に関業研究での研究に生かする	新する文献を読まれています。 まする文献を読まれています。 までいますができる。	武を修得した。一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、
Eデル <u>:</u>	コアカリョ	5週 6週 7週 8週 Fユラムの	(Macromolecule:本間 超臨界水利 山本 DNA修復、文献講読(Mutatic新井 講読)門庭 京文献講読。高性能二次 京河 安語文献 京芸 京芸 京芸 京芸 京芸 京芸 京芸 京	分子の英語論文 s等) 利用技術に関する文i 、突然変異、細胞周 のn Research等) プロセスの速度論的 欠電池電極材料の研 病およひ食品化学に 学,薬学,環境科学に や資源循環,グリー 講読 世目標 学習内容の到達目標 日本語と特定の外間	る文献 献講読 期に関する英語解析に関する英語解析に関する文献講読 で関する文献講読 で関する文を語文がは関するで表示が と対している。 要国語の文章を読み では、アンケート に対している。)に関する文献 ることが言れ 本して言とが超い 本して主とがない。 い卒業論文の作 でででである。 でででである。 ででできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を読み、卒業利用技術に関業研究でのの成に生かする	新する文献を読まれています。 対する文献を読まれています。 対象である。 到達レベル 3	一議を修得 ・ 大知識 ・ ・ 考察お。 ・ 授業週 後8

	収集した情報源や引用元などの信頼性・正確あることを知っている。	雀性に配慮する必要が	3	後8
	どのような過程で結論を導いたか思考の過程。	星を他者に説明できる	3	後8
	事実をもとに論理や考察を展開できる。		3	後8
	結論への過程の論理性を言葉、文章、図表だる。	などを用いて表現でき	3	後8
評価割合				
	理解度	合計		
総合評価割合	100	100		
基礎的能力	0	0		
専門的能力	.00 100			
分野横断的能力	0			